

# リハビリテーション科



診療科紹介 HP

## ご挨拶

特に中枢神経症状に対するニューロリハビリテーション治療とICUなどの重症者に対するリハビリテーション治療を専門にしております。いわゆる運動や筋トレと混同されやすいですが、あくまでもリハビリテーション医学は科学であり、健常とは異なる生化学・生理学状態が前提となります。例えば脳卒中麻痺では麻痺肢が勝手に緊張する“痙攣”が生じますが、そのような麻痺肢への筋トレやストレッチは逆効果にもつながりかねません。ICUでは短期間に筋力低下が進行しますが、炎症反応が高く肝合成能が低い状態への強負荷はかえって筋肉量減少に繋がりかねません。「全ての症状には理由があり、全ての治療には根拠がいる」、そんな最適の治療を常に心がけております。



診療部長

佐々木 信幸 (主任教授)

## 診療科の特色

様々な中枢神経症状に対し、反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS)を用いた最先端治療を提供しております。rTMSは頭上に設置したコイルからの電磁波で脳内局所の神経活動性を非侵襲的に変調させる新たな治療的技術です。うつ病のみにしか保険適用されておりませんが、当科では未承認医療機器治療として、脳卒中麻痺や失語症・注意障害など高次脳機能障害、パーキンソン症状、脊髄損傷対麻痺、その他様々な中枢神経症状に対して適用しております。まだ治療法が確立していないHTLV-1関連脊髄症の歩行障害や、新型コロナウイルス感染後遺症(long COVID)への有用性も報告してきました。装着型サイボーグ、Hybrid Assistive Limb(HAL)を用いたロボットリハビリテーション治療も導入しております。

### 患者さんのご紹介について

 聖マリアンナ医科大学病院  
ST. MARIANNA UNIVERSITY HOSPITAL

 044-975-0608

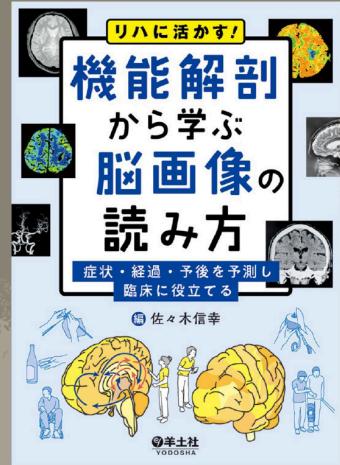
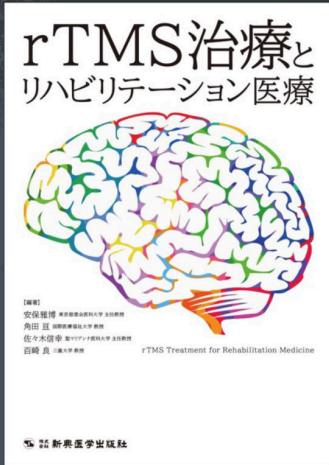
 044-977-8111 (代表)



聖マリアンナ医科大学病院  
患者さんのご紹介について

紹介受付時間：平日 8：30～15：00  
土曜 8：30～11：00

お問い合わせ先：メディカルサポートセンター



## 局所脳機能を変化させる新技術 反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS)

世界にまだない新たな治療を開発しており  
様々なTV番組や紙面で取り上げられました  
下記のような様々な中枢神経症状の改善に  
挑戦しています

- ・新型コロナ感染後遺症のプレインフォグ
- ・脳卒中後の片麻痺や高次脳機能障害
- ・パーキンソン病や進行性核上性麻痺
- ・HTLV-1関連脊髄症や不全脊髄損傷
- ・軽度認知機能障害(MCI)

## 装着型サイボーグ Hybrid Assistive Limb(HAL)

当科ではロボット治療を導入しております  
HTLV-1関連脊髄症(HAM)の対麻痺など  
対象は限られますのでご相談ください

## お役立て下さい YouTube

初学者にも楽しく学んでいただけます

「脳みそすごいぜ」

入院や手術前に役立つ自主リハビリ

「プレハビリテーション」

**YouTube**  
患者様の自主リハや  
脳機能の理解に役立つ  
様々な情報を発信中

rTMSについての未承認医薬品等を用いた自由診療の限定解除要件

- 1)未承認医薬品等: この治療的介入で使用される磁気刺激装置マグブロシステムは医薬品医療機器等法上の承認を得てない未承認医療機器です。
- 2)入手経路等: 当院で使用している磁気刺激装置マグブロシステムはデンマークのMagVenture社で製造されたものを、インターリハ株式会社を通じて輸入したものです。
- 3)国内の承認医薬品等の有無: 新型コロナ感染症後遺症に対して、国内において承認されている同様の医療機器はありませんが、同様の原理を利用した類似機器としては、一般的な名称「経頭蓋治療用磁気刺激装置」として本邦で承認され、うつ病に対する治療機器として販売されています。
- 4)諸外国における安全性等に係る情報: 非臨床試験では、性能評価試験（2011-MV008）、安全性試験（電気的安全性、機械的安全性:E360406-D1001-1/A0/CO-CB）、安全性試験（電磁両立性:DANAK-19/15683）、ソフトウェアライフサイクルプロセスへの適合性確認（E360406-D1002-1/A0C0）から、安全性と磁気刺激の出力についての評価が実施されています。経頭蓋治療用磁気刺激装置は既に様々な疾患の臨床研究で使用されています。既認証品では2件の有害事象の報告があり、2件とも繊維筋痛症への使用における軽微なけいれん発作でした。経頭蓋治療用磁気刺激装置は、海外では、FDAにおいてうつ病、強迫性障害の治療機器として、EUにおいてうつ病、不安症、依存症、強迫性障害の治療機器として承認を得ています。



YouTube